

# 東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	第17回東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座例会および第14回東邦医学会佐倉内科分科会
作成者（著者）	東邦大学医学会編集委員会
公開者	東邦大学医学会
発行日	2022.06.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 69(2). p.102-108.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	学会抄録(分科会)
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	<a href="https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD30207367">https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD30207367</a>

## 学会抄録 (分科会)

# 第17回東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座例会 および第14回東邦医学会佐倉内科分科会

2021年12月12日(日) 10時~17時40分  
東邦大学医療センター佐倉病院 7F 講堂

開会の挨拶 松岡克善

## 第I部 学内研究発表

座長 齋木厚人, 山口 崇

### A グループ

#### 当院における COVID-19 感染症入院患者の検討

高島健太

当院では2020年4月から2021年9月までに、171名の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の入院治療を行った。そのうち重症17名、死亡8名であった。同疾患の重症化に関して、その臨床的特徴を後方視的に解析し報告する。

### B グループ

#### 佐倉代謝センターから発信する「良性肥満」という新たな概念

中村祥子

いわゆるメタボではCAVIは高いが、高度肥満ではCAVIは低い。215kgの高度肥満女性に皮下脂肪切除とスリーブ術を順次行い、各時点でのCAVI、アディポカイン、内臓・皮下脂肪の遺伝子発現の推移から良性肥満因子を推定した。

### C グループ

#### がん治療関連心機能障害(CTRCD)の早期検出

木下利雄

近年、がん治療の発達と共にがんと循環器疾患の両者が重なった領域を扱う腫瘍循環器学(Onco-Cardiology)が提唱された。この分野において特に大きな課題となっているのが、がん治療関連心機能障害(CTRCD)の早期検出である。

### D グループ

#### 潰瘍性大腸炎患者における ustekinumab の有用性および安全性の検討

木村道明

Ustekinumabは大規模臨床試験によって潰瘍性大腸炎に対する有用性、安全性が報告されているが、実臨床での有用性、安全性に関する報告は少ない。そこで当院においてustekinumabで治療した潰瘍性大腸炎患者における、その有用性、安全性について検討した。

## E グループ

### 重症筋無力症患者における下部尿路症状の検討

館野冬樹

下部尿路症状 (LUTS) が重症筋無力症 (MG) にどの程度併存しているかは、未だに不明であり、MG 患者と健常対照者を対象に LUTS 質問票を実施し比較した。結論、MG 患者は対照者に比べて LUTS が有意に多く、QOL も悪化していることがわかった。

## F グループ

### 透析患者における NT-proBNP と QOL の関係

山崎恵介

透析患者の心不全は生命予後のみならず患者 QOL の低下に影響を及ぼしている可能性がある。今回、慢性維持透析患者 268 名に SF-36 を用いた QOL 評価を行い NT-proBNP と比較した。

## 第 II 部 前期 1 年目研修医発表

座長 清水一寛, 木下利雄

### 1. SIADH に対するトルバプタン投与の最新の知見と当院での経験例

下川健太

指導医名：阿部一輝, 田中 翔 (B グループ)

74 歳男性。負荷試験により SIADH の診断に至った。SIADH に対するサムスカの使用は本邦において 2020 年 6 月に保険適応となった。SIADH に対するトルバプタンの動向や適正使用について最新の知見を交え考察する。

### 2. 骨髄線維症に Sweet 病を合併した一例

岩柳美沙

指導医名：中村祥子, 恩田洋紀, 清水直美 (B グループ)

74 歳女性。骨髄線維症に対し AZA 療法を施行。経過中に発熱、両側前腕・臀部の有痛性紅斑を認めた。蜂窩織炎を疑い抗菌薬加療を行ったが改善に乏しく、病理組織診断で Sweet 病と診断された。考察を交えて報告する。

### 3. 高度肥満, SAS, 高血圧による複合的要因で生じた慢性心不全の一例

吉澤 剛

指導医名：戸谷俊介 (C グループ)

背景に SAS と高血圧があり、BMI47 と高度肥満を呈している 58 歳女性の呼吸困難。HFmrEF の診断で利尿薬によるうっ血解除と心保護薬によって状態改善を認めた一例を経験した。慢性心不全の発生要因の考察を交えて報告する。

### 4. 高 Ca 血症を呈したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の一例

佐藤朝日

指導医名：山岡周平, 渡辺康弘, 清水直美 (B グループ)

84 歳男性。腎機能障害で紹介受診。高 Ca 血症、腹部 CT で腹腔内・骨盤内腫瘍性病変を認め、精査の結果びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 Stage II と診断された。PTHrP 高値であり、悪性腫瘍随伴性高 Ca 血症が疑われた。考察を交えて報告する。

### 5. 成長ホルモン分泌不全性低身長症 (GHD) に中枢性尿崩症を合併した一例

山崎賢太郎

指導医名：阿部一輝, 田中 翔 (B グループ)

成人 GHD で代謝センターに通院中の 24 歳男性。成人 GHD の所見に加え、著明な高 Na 血症を認めていた。全容機能低下の合併例は多いが、後葉機能低下の合併例は少なく、稀少な症例を経験したので文献的考察を交えて報告する。

## 6. 高齢発症の微小変化型ネフローゼ症候群の臨床的特徴

大橋稜悟

指導医名：日高 舞 (Fグループ)

76歳男性。急激な全身浮腫と体重増加を主訴に当科紹介となり、腎生検で微小変化型ネフローゼ症候群と診断された。高齢発症のネフローゼ症候群は増加傾向にあり、当院での自験例及び文献的考察を踏まえて報告する。

## 7. ニボルマブが原因として疑われた ACTH 単独欠損症の 1 例

竹内一真

指導医名：恩田洋紀，中村祥子 (Bグループ)

66歳男性。食思不振・嘔吐を主訴に来院した。来院時、著明な低ナトリウム血症を認めた。入院後、各種負荷試験を施行し、ACTH 単独欠損症の診断に至った。腎細胞癌に対し投与されていたニボルマブが原因として疑われた。文献的考察を交えて報告する。

## 8. 心エコー図検査が診断に寄与した AL 型心アミロイドーシスの一例

鈴木裕介

指導医名：岩川幹弘 (Cグループ) 協力：清水直美 (Bグループ)

起立時の一過性意識消失発作を繰り返す 86歳男性。前医の検査にて心筋症が疑われ、精査目的に当院循環器内科に紹介となった。心エコー図検査が診断の一助となった AL 型アミロイドーシスの一例を経験したため文献的考察を交えて報告する。

## 第 III 部 後期研修医・出向中医師発表

座長 清水直美，飯塚卓夫

### 1. 高安動脈炎に併発した ANCA 関連腎炎の 1 例

大野瑠衣子

指導医名：日高 舞

高安動脈炎に対しステロイド加療していた 80歳女性。不明熱と炎症反応高値および急激な腎機能障害あり、ANCA 関連腎炎の診断に至った。大血管炎と小血管炎を合併する例は稀であり、画像的・文献的考察を加えて報告する。

### 2. 増殖性ループス腎炎の寛解後に MCNS を発症した全身性エリテマトーデスの 1 例

入江祐介

指導医名：杉山隆夫 (下志津病院)

21歳女性。13歳時に SLE ループス腎炎 Class V+III (a) の診断で加療、以後寛解していたが蛋白尿・浮腫が再燃しループス腎炎再燃疑いで入院となる。入院後の腎生検では Class I 微小変化型であり、稀な症例を経験したので報告する。

### 3. 抗 NMDA 受容体脳炎でけいれん発作が持続した一例

酒井大輝

指導医名：吉川由利子 (成田赤十字病院)

31歳女性。強直間代痙攣を繰り返し、抗 NMDA 受容体抗体が陽性で NMDA 受容体抗体脳炎と診断した。数か月にわたって複数の抗けいれん薬を併用したが、けいれん発作が持続した一例を報告する。

### 4. CRE (カルバペネム耐性腸内細菌科細菌) が検出された透析患者の 1 例

清水桃子

指導医名：藤井隆之 (聖隷佐倉市民病院)

85歳男性。慢性腎臓病、体液過剰で入院。低心機能あり、他院へ動脈表在化術のため転院。転院先で CRE 検出され、個室対応困難なため当院へ転院し治療を行った。CRE 感染症について文献的考察を加えて報告する。

## 5. 腹腔内リンパ節腫脹より診断に至った結核性リンパ節炎の一例

高橋 禎

指導医名：松永宇広（聖隷佐倉病院）

54歳女性，妊娠高血圧腎症を原病とする慢性腎不全で維持透析で入院したが間欠性の腹痛と水溶性下痢，発熱が出現し症状は改善せず．活動性結核のリスクが高い患者の不明熱を見た際は活動性結核を疑い検査をすることが重要であると考えられた一例を報告する．

## 6. 専門医施設における大動脈弁狭窄症カテーテル治療の取り組み

岩川幹弘

指導医名：渡辺弘之（東京ベイ・浦安市川医療センター）

東京ベイ・浦安市川医療センターは大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療（TAVI）の基幹病院として東京都や千葉県から広く患者さんが紹介されています．治療に関わるエコー医の役割を紹介します．

### 第Ⅳ部 今年度優秀論文賞（白井賞）

座長 大橋 靖，授与 白井厚治

渡邊康弘

**A randomized controlled trial of two diets enriched with protein or fat in patients with type 2 diabetes treated with dapagliflozin.**

### 第Ⅴ部 特別講演

座長 松岡克善

講師：五十嵐良典 先生

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 教授

演題：「臍胆道疾患に対する内視鏡治療の現況」

略歴：五十嵐良典

現職名：

東邦大学医学部医学科内科学講座（大森）消化器内科教授

東邦大学医療センター大森病院消化器センター長

学歴，免許，学位：

昭和56年3月 東邦大学医学部卒業

平成2年4月 医学博士取得

職歴：

昭和56年 東邦大学医学部第三内科研修医

昭和58年 東邦大学医学部第三内科研究生，消化器病学専攻

昭和59年 県立がんセンター新潟病院消化器内科研修（1年間）

昭和62年 東京共済病院内科出張（1年2ヶ月）

平成1年 東邦大学医学部第三内科助手

平成3年 日産厚生会玉川病院内科出張（1年間）

平成7年 東邦大学医学部第三内科講師

平成14年 東邦大学医学部第一内科講師

平成15年 東邦大学医学部内科学講座（大森）消化器内科講師

平成16年 東邦大学医療センター大森病院内視鏡部部長

平成17年 東邦大学医療センター大森病院消化器内科助教授

平成 18 年 東邦大学医療センター大森病院消化器内科准教授  
平成 19 年 12 月 東邦大学医学部内科学講座（大森）消化器内科教授  
平成 21 年 7 月 東邦大学医療センター大森病院院長補佐  
平成 29 年 4 月 東邦大学医学部内科学講座（大森）消化器内科主任教授  
平成 30 年 7 月 東邦大学医療センター大森病院副院長  
平成 30 年 9 月 東邦大学 理事，評議員

現在に至る

役職：

日本消化器関連学会機構（JDDW）理事

日本消化器内視鏡学会 理事・学術評議員・社団評議委員・指導医・専門医

第 95 回日本消化器内視鏡学会総会会長

日本消化器病学会 財団評議員・学会評議員・指導医・専門医

日本胆道学会 監事・評議員・学会認定指導医，第 50 回日本胆道学会会長

日本膵臓学会 評議員・学会認定指導医

日本高齢消化器病学会 理事・評議員

日本内科学会 評議員・指導医・認定内科医

日本大腸肛門病学会 指導医・専門医

日本胆膵病態・生理研究会 世話人

**研修医発表表彰式 松澤康雄**

閉会の挨拶 榊原隆次

# 東邦大学医学部佐倉病院 総合内科医局前期1年目研修医発表プログラム

日時：2022年3月14日（月）18時～20時  
会場：東邦大学医療センター佐倉病院 7F 講堂

## 前期研修医発表

座長 澤井 撰, 山田哲弘

### ①IE, 心臓腫瘍が疑われた Calcified Amorphous Tumor (CAT) の一例

研修医名：越川雄太

指導医名：戸谷俊介 (Cグループ)

42歳女性の感冒症状, 左側背部痛. 心エコーで右室内腫瘍を認め, 肺梗塞合併の感染性心内膜炎が疑われたが, 経過からは心臓腫瘍と考え摘出術となった. 最終的に病理所見より Calcified Amorphous Tumor (CAT) と診断した. 考察を交えて報告する.

### ②N-MTT 基を有する抗菌薬使用によりビタミン K 欠乏症を来した一例

研修医名：横塚大和

指導医名：中村祥子 (Bグループ)

83歳女性. 急性腎盂腎炎 (E. coli) による高血糖高浸透圧症候群で入院し, CMZ 使用中に PT-INR 延長を認めた. PIVKA-II 高値, ビタミン K 低値からビタミン K 欠乏症の診断となった. その臨床経過から背景因子を推定した.

### ③2型糖尿病の経過中に劇症1型糖尿病を発症した一例

研修医名：外川美和子

指導医名：山岡周平, 渡邊康弘 (Bグループ)

2型糖尿病に対し内服加療中の56歳女性. 全身倦怠感を主訴に当科受診し, 糖尿病性ケトアシドーシスの診断で入院した. 急激な血糖コントロール悪化の原因精査中に劇症1型糖尿病と診断された. 考察を交えて報告する.

### ④甲状腺 DLBCL に対する化学療法中に生じた低マグネシウム血症の一例

研修医名：今井咲良

指導医名：阿部一輝, 田中 翔, 清水直美 (Bグループ)

61歳女性. 甲状腺 DLBCL の化学療法中に四肢の痺れが出現し, 低マグネシウム血症に伴う電解質異常を認めた. 低マグネシウム血症について, 文献や考察を交えて報告する.

### ⑤縦隔原発大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対して DA-EPOCH-R 療法を施行した一例

研修医名：小宮山朋美

指導医名：阿部一輝, 田中 翔, 清水直美 (Bグループ)

49歳男性. 縦隔腫瘍と上大静脈症候群が見られた. 経胸壁超音波ガイド下生検で縦隔原発大細胞型 B 細胞性リンパ腫 (PMBCL) の診断. DA-EPOCH-R 療法で治療を行った. PMBCL とその治療について考察を交えて発表する.

## ⑥難治性肥満 2 型糖尿病に対する胃バイパス術の効果

研修医名：森山理佐

指導医名：中村祥子 (B グループ)

減量・代謝改善手術は、体重減少に依存しない優れた代謝改善効果を有する。BMI43, HbA1c8.7%, 高用量インスリン使用中の 2 型糖尿病合併高度肥満女性に対し胃バイパス術を施行し、インスリン離脱が可能となった経過を報告する。

## ⑦2 型糖尿病に対するイメグリミン投与の当院での経験例

研修医名：朝倉玲衣子

指導医名：阿部一輝, 田中 翔 (B グループ)

88 歳男性。2 型糖尿病に対して前医で食事療法のみで加療していたが、血糖値と HbA1c の急激な上昇を認めたため、紹介受診。2021 年 9 月に発売となった新薬イメグリミンを当院で初めて投与した症例を経験したので、考察を交えて報告する。

## ⑧二次性膜性腎症が疑われたネフローゼ症候群の一例

研修医名：長峰舞香

指導医名：石井信伍 (F グループ)

78 歳男性。下腿浮腫と蛋白尿を指摘され受診し、腎生検の結果膜性腎症と診断した。近年、一次性膜性腎症での抗 PLA2R 抗体陽性例があり、尿蛋白量との相関が報告されているため、文献的考察を交えて考察する。

## ⑨巨細胞性動脈炎の経過中に尿細管間質性腎炎を発症した一例

研修医名：南波健介

指導医名：石井信伍 (F グループ)

79 歳男性。巨細胞性動脈炎の治療中に Cr 4.62 と腎機能の増悪を認め、腎生検を施行し尿細管間質性腎炎と診断した。経過から薬剤性間質性腎炎が疑われたため、文献的考察を交えて報告する。

## ⑩自己免疫性が疑われた膵炎及びその合併症にステロイドが著効した一例

研修医名：白井佳央理

指導医名：岩下裕明 (D グループ)

66 歳男性。膵腫瘍で紹介受診。精査したところ、びまん性膵腫大、後腹膜線維症、高 IgG4 血症をみとめ自己免疫性膵炎が疑われた。プレドニゾン 40 mg にて膵炎症状、採血結果が著明に改善した。考察を交えて報告する。